

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成29年度第1回西脇市手話施策推進会議
開催日時	平成29年6月26日(月) 午後1時30分～2時30分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	鳥越隆士、嶋本恭規、丸山昭彦、岡崎隆吾、藤原進、大橋正子、藤井啓史、森脇奈穂美、高橋康子
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	川崎佳子、竹内誠、藤原竜俊
出席職員の職・氏名又は人数	福祉部 部長 細川喜美博 社会福祉課 課長 伊藤景香 社会福祉課 課長補佐 的場定美 社会福祉課 設置手話通訳者 勝岡めぐみ
傍聴の人数	10人
協議又は協議事項	(1) 西脇市手話施策推進会議の運営について (2) 西脇市手話施策推進方針について (3) 手話に関する事業について
会議の記録（概要）	
発言者	内 容
事務局	・傍聴 西脇市手話施策推進会議傍聴要綱では、傍聴人の定員は原則5人であるが、現在10人の傍聴希望がある。会長選出前であるため、委員の了解を得て、許可することとしてよいか。
委員	了解する。
事務局	委員の了解を得て、10人の傍聴を許可する。
市長	・市長あいさつ
事務局	・委員紹介及び委嘱状の交付 ・会長及び副会長の選任 会長は、嶋本恭規委員、副会長は鳥越隆士委員が就任。

会 長	<p>3年間このメンバーと一緒に頑張りたい。</p> <p>さて、県下17市町で手話言語条例が制定されている。兵庫県身体障害者福祉協会から県に対して「兵庫県手話言語条例」を制定してほしいという要望を提出しているので、今後、本格的に進んでいくのではないかと大変期待している。</p> <p>また、6月7日に東京で開催された全国手話言語市区長会は、大変素晴らしい内容で煮詰まった状況が出てきている。西脇市が全国のモデルとなるようなものをつくっていったら嬉しい。</p>
副会長	<p>西脇らしい手話言語条例の施策推進に微力ながら協力したい。</p>
会 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>○会議日配布資料：会議次第、委員名簿</li> <li>○事前に郵送で配布した資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>「第1回西脇市手話施策推進会議」資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・西脇市手話言語条例</li> <li>・西脇市手話施策推進会議条例</li> <li>・西脇市手話施策推進方針（案）</li> <li>・「手話施策推進計画表」</li> <li>・今年度実施する事業の具体例 等</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・協議事項(1)について、事務局から説明を願う。</li> </ul>
事務局	<p>(1) 西脇市手話施策推進会議の運営について説明</p> <p>■協議事項(1)に関する質疑応答 委員から質問なし</p>
会 長	<p>(2)の手話施策推進方針について、事務局から説明を願う。</p>
事務局	<p>(2) 西脇市手話施策推進方針について説明 委員に郵送で事前配布していた方針（案）について説明。</p>
会 長	<p>推進方針には、4つの柱があると説明があった。これについて意見、質問はあるか。</p>

	<p>■協議事項(2)に関する質疑応答</p>
<p>委員</p>	<p>1の(2)企業に対し、ろう者への理解と手話を広めるとあるが、協会からの意見として「消防署、警察署、病院等の施設や自治会などでの手話普及」を願っている。そのようなところでの手話普及は、この中に含まれているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>1の(2)の中には、以前に意見としていただいていた事業所や消防署、病院も含まれている。何らかの形で事業を進めて行きたいと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>委員、この回答で良いか。      良いとのことなので、他に意見はあるか。      意見が無いようなので、推進方針（案）の説明に関しては了承を得たということで次に進む。       次に「手話に関する事業について」事務局から説明を願う。</p>
<p>事務局</p>	<p>(3) 手話に関する事業について説明。</p>
<p>会長</p>	<p>今の説明について、意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>■協議事項(3)に関する質疑応答      今の説明の中で、もう少し詳しく聞きたい。      手話施策推進計画表の29年度の実施時期が、「未定」と「検討予定」と2つある。例えば、「30年度を目途に検討する。」とか「30年度までに検討する。」のような具体的な表現にした方がわかりやすい。      「検討予定」ではなく、「30年度に実施する。」など具体的にスケジュールがあればわかりやすい。この会議は、今年度2回予定されているので、次回は、施策内容の評価や次年度の予算に関わってくる内容の協議になると思う。具体的にスケジュールを挙げていただければわかりやすい。</p>
<p>事務局</p>	<p>「未定」については、29年度に事業を始めたいと考えているが、関係機関等との調整が今の時点ではできていない。</p>

	<p>「検討予定」については、29年度実施は、難しいと考えており、今後検討していくという意味でそのように表現している。</p>
委員	<p>関係者との協議が必要ということで、「検討予定」というのは、実際に行うかどうかはわからないということか。また、この件に関してはかねてから要望があったのか、もしくは市が調査をして必要と判断したからなのか。</p>
事務局	<p>施策1については、手話言語条例検討委員会時の当事者団体の聞き取りの中で「手話で自由に話せる場所が欲しい」、「昼間集まれる場所が欲しい」、「子どもたちも集まって交流がしたい。」などの希望があった。</p> <p>施策2では、関係機関とじっくり話し合いをして進めたい。</p> <p>施策3では、研修を行いながら進めたい。</p>
会長	<p>他にご意見はあるか。</p>
委員	<p>施策3の「緊急時の連絡等について」。</p> <p>災害時に関しては、命に関わるものなので、むしろ一番に、早急に進めるべきではないか。検討予定ではゆっくりというイメージだ。</p>
事務局	<p>委員御指摘のとおり、緊急時及び災害時については、命に関わる大変重要なことなので、早急に取り組みたい。</p>
委員	<p>施策1について。</p> <p>日頃から当事者との関わりがあるが、地域への障害の理解を広めることについては、難しさを感じており、啓発がもっと必要と思う。その中で、昨年、シンポジウムが開催されたが「とても良かった」という感想を聞いた。そのような講演会のようなものを開いてはどうか。</p>
事務局	<p>昨年は、障害者差別解消法施行に合わせて、淡路ふくろうの郷の大矢さんにお越しいただき、聴覚障害者の皆さんとシンポジウムを開催した。ろう者の方のこれまでの思いを市民の皆さんに知ってもらおう機会となり、100人以上の参加があり、好評だった。</p>

	<p>協議事項の中には挙げてはいないが、障害者差別解消法に合わせ、障害の理解のための講演会を開催できたらと考えている。</p>
会 長	<p>その他にご意見はあるか。 ないようなので、私から情報提供をしたい。</p>
会 長	<p>神戸市のホームページでは、兵庫県立聴覚障害者情報センターに委託し、手話コーナーを作っている。また、神戸市長自ら、手話で挨拶している動画を発信している。他市でも、手話動画を掲載しているところは多い。是非、参考にさせていただきたい。</p> <p>次に、災害時に関することだが、何か起こってから支援をするというのは大変厳しい。西脇市内でも防災訓練があると思うが、聴覚障害者は、なかなか参加できない。参加しやすくするためにどうしたらよいか。また、1つだけ心配しているのが施策2のICTの導入について検討とあるが、具体的な内容について知りたい。</p>
事務局	<p>例えば、以前に西脇病院に手話通訳者を設置してはどうかという意見があったが、手話を必要とする患者が来院した際にテレビ電話などで対応できないか等について検討を進めたい。</p>
会 長	<p>そのことも含めて、今後施策を進めてほしい。 その他に意見はあるか。</p>
委 員	<p>計画表の中での「継続」と表示されていることについて聞きたい。この「継続」というのは今までの状況を確認し、新たに充実させるとか、見直しをしていくと考えているのか。または、このままの状況を継続なのか。</p>
事務局	<p>小中高での福祉学習として実施している手話教育は、聴覚障害者協会と手話サークルが、社協を通じて、依頼を受け活動されている。長年の活動に加えて、更なる手話普及を一緒に取り組みたい。年に一度の学習では足りないと考えており、今後、関係機関と調整し、より深い内容にして継続したい。</p> <p>次に、市職員のワンポイント手話レッスンは、朝会時に巡回し</p>

	<p>で行っている。また、市主催のイベント等での手話通訳や要約筆記については、充実させていく予定である。</p> <p>3の手話講座や通訳者養成講座も引き続き開催する。</p>
会 長	<p>この回答で良いか。他に意見はないか。</p> <p>では、計画表以外で意見があるとのことなので、意見を聞く。</p>
委 員	<p>西脇高校へ福祉学習に行った時の事。1回目に、西脇市手話言語条例の制定について、生徒に聞いたが、知らないとのこと。なぜ知らないのか、また情報が無いのかと聞くと「気にもとめない」、「条例を読んだことが無い。」「身近にろう者がいない。」「そもそも子どもは広報を読まない。」などの返答だった。2回目学習時に「どのようにすれば手話が広まるのか」について、考えを聞くと「社会全体に手話を広めるというのではなく、こどものうちから手話を学んでいけば大きくなって手話が広まっていく。」ということだった。「私たちには関係ない。」というのは、聞こえないということにピンとこないだけで、手話は聞こえない人だけではなく、聞こえる人にも必要で、お互いが尊重し合える社会にするために必要なのだということを生徒に話した。</p>
会 長	<p>今の意見について、私たち委員が知っておかなければいけないことと思う。また、今後も施策を審議していく中で、出てくる内容だと思う。この計画表に沿って、今後いろいろな事業がスタートするが、しっかり取り組んでいかなければならない。</p> <p>担当機関がどのように進めて行くのか十分にチェックしていき、この部分は不十分だということであれば、それが充実できるような意見を皆さんで出し合っていかなければいけない。</p>
委 員	<p>私も福祉学習に参加したが、「影響力のある人に発信してもらおう。」という意見があった。例えば、市長なら市民が知っている影響力のある人ということで、まず市長が手話で挨拶をするのが効果的ではないか。</p>
会 長	<p>全国的には、秋篠宮様、タレントの三宅さんや今井さんなどが手話をされている。西脇でも、影響力のある方たちに手話をやっ</p>

	<p>ていただけたら、市民が手話に興味を持ってくれるのではということ、計画の中に入れていただけたらと思う。</p> <p>他に啓発の方法はあるのか。</p>
事務局	<p>あくまでも案段階でお示ししている市作成予定のパンフレットですが、研修や講座などで配布し、啓発する予定。</p>
会長	<p>これについての意見はあるか。</p>
委員	<p>これは紙媒体だが、どこに配布するのか。</p>
事務局	<p>各窓口に配置し、啓発の機会ごとに配布を考えている。</p>
副会長	<p>パンフレットを作ることに意味がないとは言わないが、作成するのならターゲットを絞った方がよい。どれほどの効果を求めるのかを考えることが必要。高校生であれば多分読まないと思うし、家族に渡すくらいで、もしかしたら家族も読まないかもしれないなど、ある程度の効果を予測しながら、誰でも使え、どこでも置けるものを考えてはどうか。そのようにしなければ「作りました。」で、終わってしまう。</p> <p>パンフレットを作る段階で、何の目的で作るのか、効果はどれくらいか、どれくらい達成できたかを評価もできるようにしておくことが必要である。そうでないと、次の会議で、パンフレットを机上配布して終わってしまう。</p> <p>高校生たちにインパクトのあるものとして、西脇市のホームページや YouTube など継続的に西脇独自の手話に関する動画配信をする体制をつくり、3年間実施するなども考えてはどうか。</p> <p>動画作成は、予算ほとんど無しで作れる。今は高齢者も動画を見るのでお年寄り向けの動画、小学生には小学生向け動画とか、いろいろなことができると思う。そんな企画ができるような体制作りが大切だと思う。また、企画担当の聴覚障害者を西脇市で採用し、その人を中心にいろいろな企画をしていくなども考えられる。</p> <p>問題点としては、担当部署は「障害福祉」となり、その部署だけで、他の部署になかなか広がらない。国の障害者施策担当部署は厚生労働省ではなく、内閣府にも関連部署があり、様々な部署</p>

	<p>へ連携できる体制ができている。将来的には、障害福祉担当部署だけではなく、様々な部署が手話をする体制づくりをこの3年間にやっていただけたらと思う。</p>
会 長	<p>ご意見を是非留意してほしい。他に意見はあるか。</p>
委 員	<p>パンフレットについては、例えば4コマ漫画を入れればわかりやすいかと思う。(4コマ漫画の見本提示)</p> <p>西脇聴覚障害者協会の活動で、「あいさつの手話は、グー、チョキ、パーで覚えよう」と普及中であるが、クリアファイルに印刷すれば使う人が覚えると思う。</p>
会 長	<p>今回の意見を参考に再度検討を願う。</p>
事務局	<p>本日協議の内容、推進方針及び推進施策は、再度検討いたします。修正した結果については、委員に皆さんに送付いたします。</p>
会 長	<p>これで協議を終了する。</p>